

eLearning 宅地建物取引主任者

Windows®版 国内特許No.3820421号, 米国特許No.5888071号

宅建知識ゼロからのスタートで合格を

当ソフトは過去5年で、35,000人を越える受験者が使用した宅建学習の決定版とも言える教材です。宅建知識ゼロの初心者はもちろん、法律知識ゼロの方でも、当ソフトでほぼ誰でも合格できる実績を築いてきました。

宅建試験に確実に合格する為に宅建TLTは、900を越える学習事項をしっかりと頭にたたき込み、受験直前に全分野の復習、過去問、予想問題に取り組む学習内容となっています。

NewtonのTLTソフトは、パソコンによる「習熟管理機能」「完全暗記機能」、それに膨大な学習を超速で進める「ワンタッチ入力システム」、習熟度判定による「合格番号表示」等の仕組みが認められ、国内特許(No.3820421号)及び米国特許(No.5888071号)を取得しました。

『合格保証制度』を付けられる理由

科目単位をスモールステップで確実に頭にすり込み、豊富な演習問題で解答能力を身につけ、「合格点」を十分に超える実力が養成されたらTLTプログラムが判定したとき、そのスモールステップの合格マークが学習履歴に記録されます。

全ての単元単位において受講生固有の合格番号が画面に表示されると、それはその範囲からどのような試験問題が出されようかと合格点が取れる実力がついていくという証です。このようにスモールステップで全ての科目に合格番号が表示された時、「合格点を超える習熟」を全うした証拠といえます。もちろん、この段階で「本試験には合格」と自信がもてるでしょう。TLTソフトは完全習熟の積み重ねで、合格にアプローチします。

『合格保証制度』万一、不合格なら全額返還

eラーニング契約期間内に全科目すべてに「合格保証番号」を表示させ、その全合格番号を専用ホームページから当社へご送信下さい。その後実施される本試験で万が一不合格になられた場合、お支払いになった e-Learning受講会員費を全額返還します。全合格保証番号が表示された方ならば、不合格はあり得ないと考えているからです。(合格保証番号送信フォームのホームページURLは、e-Learning受講開始の際にお知らせします)

パソコン学習だからできる超速習

TLTソフトでの学習は、すべてパソコンの画面上で行われます。受講者の実行力にもよりますが、TLTソフトでの学習は誰もが熱中してしまいますので、アツという間に時間が過ぎて「勉強」が飽きません。TLTソフトは、これまでに経験したことのないパソコンを使ったリズムカルで超効率、超スピード習熟を可能にしました。

TLTソフトの『TLT』とは

TLTソフトとは、Testing(自分の実力をチェック)、Learning(知らない項目だけを学習)、Training(覚えるまで繰り返し演習)の頭文字をとったもので、Newton社が、多くの初心者でも容易に、自動的に『完全習熟』させてしまうことを追及して開発した、自動習熟システムソフトの名称です。

※ e-Learning宅地建物取引主任者サンプル画面

—動作環境—

- OS: Windows®XP日本語版が動作するPC/AT互換 (DOS/V) 機推奨
- CPU: Intel Pentium® (または同等の) プロセッサ300MHz以上
- メモリ: 256MB以上
- HDD: 空き容量2GB以上
- 解像度: 解像度1024×768以上、256色以上の表示が可能な機種(65536色以上推奨)
- 通信環境: インターネットに接続できる環境(ADSL・光回線などのブロードバンド環境推奨)

1 スピード習熟を可能にした「ワンタッチ入力システム」

TLTソフトでは、画面に表示される問題の『答』を入力する時に、長い『答』を打ち込むには時間もかかり、大変です。そこでTLTソフトでは、『答』の頭文字を入力すると『答』全体が入力されたとみなす機能を備えています。例えば、『答』が〔家族〕なら、〔KA〕と入れるとその時点で〔家族〕と表示されて、正解表示になります。そして、次の穴埋め、または説明文へと自動的に移行します。このように、頭文字の1文字を入力するだけでコンピュータは○×の判定をしてくれます。これが学習スピードを10倍以上にも上げる『ワンタッチ入力システム』なのです。

2 あなたの弱点項目を集中トレーニングする「習熟度管理機能」

最初にTestingでいくつかの問題が出題され、あなたが間違えた問題・弱点を見つけます。Testingでニガテと判断された問題を、Learningで例文・解説と一緒に、しっかりと理解するまで何度も繰り返し学習した後、Trainingで学習した問題が完璧に身についているかを再び確認します。LearningとTrainingを繰り返し、最終的には全てを完全習熟させてしまいます。このようにあなたの学習習熟度を管理するシステムにより、無駄なく着実に勉強ができるのです。

3 「忘却曲線応用システム」で100パーセント習熟

繰り返し出題されるといっても、同じ問題が何度も出てくるのではなく、出題形式や出題内容は少しずつ変化します。できたはずの問題が、しばらくしてまた出題されることもあります。これは、完全に覚えたと思っても、時間が経過したり、次から次へと新たな知識を吸収していくうちに、その記憶が希薄になり次第に忘れていくという有名な『忘却曲線』を応用したシステムで、TLTソフトではこのシステムにより、最後にはしっかり『頭にスリ込ませて』しまいます。

合格への学習計画

スモールステップで1項目ずつ完全習熟すると、最終的に全学習項目に合格番号が表示されます。初心者での総学習時間は標準300時間です。個人差にもよりますが210時間～400時間程度で合格点に達する習熟学習ができます。

例) 【標準300時間の学習計画】 ◆1日2時間学習…5ヶ月(150日) ◆1日3時間学習…3ヶ月半(100日)

※学習項目は、バージョン・法改正により多少変わる場合がございます。

【民法Ⅰ】 基礎用語／総則／物権	【法令その他Ⅰ】 都市計画法／建築基準法／国土利用計画法
【民法Ⅱ】 債権／相続	【法令その他Ⅰ】 土地区画整理法／農地法その他の法令／不動産鑑定評価基準／ 税法／土地・建物、統計
【借地借家法他】 借地借家法／不動産登記法／区分所有法	【過去問徹底トレーニング】
【宅地建物取引業法】 総則・免許／取引主任者／営業保証金・保証協会／業務上の規制／監督処分・罰則	【直前完全合格対策】

お問い合わせ先